



桂樹舎が、新デザインの型染クッションを〔国際〕文具・紙製品展で発表

7月4日から6日の3日間にわたって東京ビックサイトで開催された第23回〔国際〕文具・紙製品展 ISOT 2012で、富山県総合デザインセンターのデザインコーディネート事業から誕生した新商品が発表され、大きな反響がありました。



国の伝統的工芸品に指定されている越中和紙の一つ、八尾和紙の製造と加工を手掛ける桂樹舎は、7月に東京ビックサイトで開催された〔国際〕文具・紙製品展 ISOT 2012に出展。デザイナーとのコラボレーションによる、型染の和紙を使った新作クッションを発表した。

会場では、布ではなく和紙をクッションカバーに用いた意外性と高いデザイン性で引き合いも多く、来場者からの反応は上々だった。デザインを手掛けたのは、グラフィックデザイナーの粟辻美早さん。富山県総合デザインセンターのデザインコーディネート事業によって実現したものだ。

クッションの絵柄は7種類あり、現代の暮らしに合わせたシンプルでモダンなデザインが特徴。組み合わせ次第でオリジナルな空間を演出することができる。

また、素材である厚手の手漉き和紙は、こんにやく糊で刷毛

引きし、手もみでできた独特の風合いがある。撥水・防汚加工されているため水にも強く、使うほどにツヤが出て、スエードのような質感を楽しむことができるという。

桂樹舎ではこれまでも富山プロダクツに選定されている撥水加工した型染の和紙クッションや座布団、バッグなどを販売してきた。そのほか、ブックカバーや小物入れなど、多種多様な文具も手掛けている。しかし、その多くは和柄のアイテムで、民芸品店などでの販売が多かった。同社の吉田社長は、「今回の和紙クッションはこれまでとは違った新鮮な発想でデザインされた商品。これをきっかけに、今後はインテリア関連のショップや雑貨店など、新たな販路を開拓していきたい」と意気込みを語る。

<http://www.keijusha.com/>

TEL. 076-455-1184 FAX. 076-445-1189